

共通語彙基盤

イベント
情報交換パッケージ (IEP)
(ドラフト v.0.2)

平成26年9月30日

目 次

1. 本 IEP の目的	1
2. データ項目	2
3. IEP 活用の流れ	15
3. 1 新規システム構築の場合	15
3. 2 既存システムの場合	16
4. コード等	17
4. 1 コード、データ	17
4. 2 グローバル対応	17
5. サンプル	18

図 表 目 次

図 1 IEP を介したデータの連係	1
図 2 主なデータ項目	3
図 3 詳細データ項目	13
図 4 英語対応、schema.org 対応	14
図 5 新規システムでの導入イメージ	15
図 6 既存システムでの導入イメージ	16
図 7 サンプル 1	19
図 8 サンプル 2	20
図 9 サンプル 3	22
図 10 サンプル 4	23

1. 本 IEP の目的

イベントとは、特定の日時に開催される催しや活動のことである。講演会や祭り等をはじめ、災害時の給水活動等もイベントである。

官民で様々なイベントが日常的に行われているが、目的や地域によってイベントの記述方法が様々であるために、複数のイベントのデータを組み合わせて活用しようとする変換が必要な場合が多く、情報の広域での交換などが十分にできていない。

そこで、イベント情報を交換する時の共通的な交換方法が必要となる。既存のシステムのデータ構造を変更する必要はないが、相手先にあわせてデータ変換する時に参照すべきデータ一覧が必要となる。

本 IEP（Information Exchange Package:情報交換パッケージ）は、地点の情報を公開、交換、管理するために整備されたものである。実装に当たっては、共通語彙基盤の語彙セットを本 IEP と合わせて参照されたい。

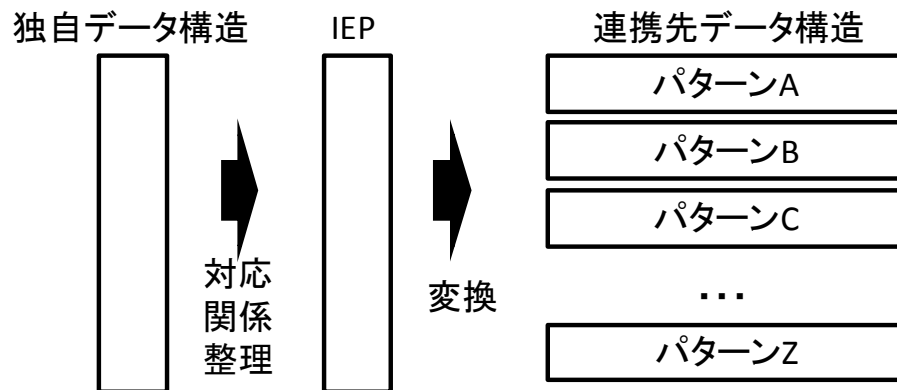


図 1 IEP を介したデータの連係

IEP 活用のメリット

- ・組織内外の多くのシステムと情報交換がしやすくなる
(調整やインターフェース改造が不要)
- ・情報項目に定義があるので、誰が見ても誤解なく情報が活用できる
- ・新規システム開発では、データ設計が標準的なデータでできる

2. データ項目

データ項目と記述イメージは、以下の通りである。灰色項目はその下に記述された項目を組み合わせることで、アプリケーションで自動生成できる項目である。ただし、構造化した住所等を使用しないで、直接記入することも可能である。

データ項目名	説明	備考
名称	イベントの正式名称を記載。	
英語名称	イベントの英語名称を記載。	
通称	イベントが通称を持つ場合に記載。	
分類	イベントの分類を記載。	
期間	イベントの期間を記載。	
要約	一覧などに載せる簡易な説明を 100 文字以内で記載する。	
説明	イベントに説明がある場合には記載。	
出演者		
対象者	対象者を記載。	
人数	募集人数、参加可能人数を記載。	
料金	参加料金を記載。	料金詳細項目から自動生成する
持ち物	イベントに必要な持ち物がある場合に記載。	
開催場所	開催場所の名称を記載。	
住所表記	都道府県、市区町村、町名を連続して記載。その後、丁目、番地、号をハイフンで接続して半角で記載。「東京都千代田区霞が関 1-3-1」	連絡先詳細項目を登録することで、自動生成する。 住所のデータ構造の詳細は住所 IEP を参照
郵便番号	郵便番号を半角、ハイフンなし、連番で記載。	
アクセス	地点までのアクセス経路を記載する	アクセス詳細項目を登録することで、自動生成する。
参加方法	参加の方法を記載。	
申込方法	申し込みの方法を記載。	
託児施設	託児施設の内容を記載。	
参照	イベントを説明する情報がある場合には、その参照先 url 等を記載する。	
画像	画像がある場合には、参照先 url 等を記載。	
関連イベント	上位イベントやサブイベント等の関連のイベントがある場合に記載。	
主催	主催者を記載。	
共催	共催者を記載。	
後援	後援者を記載。	
連絡先	地点に関する連絡先がある場合には、	連絡先詳細項目を登録する

	その内容を記載。	ことで、自動生成する。
--	----------	-------------

図 2 主なデータ項目

アプリケーションでは、図 2 のデータが利用者に見える。また、地点情報に施設情報、設備情報を付加することで施設や設備の情報を表現する。

データベースでデータを管理する場合の IMI 対応は以下のとおりである。

ic:地点					
ic:イベント_ID					イベントにIDを記載するときには、以下にどのコード体系を使うか記載。
		ic:ID_体系			
			ic:ID体系_名称		ID に名称がある場合に記載。
			ic:ID体系_ID		ID に番号などが付与されているとき記載。
			ic:ID体系_発行者		ID を発行する組織名を記載。
			ic:ID体系_発行者-ID		
			ic:ID体系_バージョン		ここで使用する ID のバージョンを記載。
			ic:ID体系_URI		ID に URI がある場合に記載。
		ic:ID_値			ID の実際の値を記載。この部分が一般には表示される。
ic:イベント_名称					イベントの名称を記載する。
		ic:名称_種別			「正式名称」、「英語名称」「通称」「サブタイトル」等の種別を記載。
		ic:名称_表記			名称を記載。
		ic:名称_表記-ローマ字			英語名もしくはローマ字名を記載。
ic:イベント_目的					「見る・聴く」「参加・交流」「学び」「相談」「競技・コンテスト」「サービス利用」
ic:イベント_分類					イベントの分類を記載する。 「お知らせ」お知らせ全般（税金、断水等） 「医療・衛生」検診等、医療・衛生に関すること 「福祉」年金、支援制度等、高齢者や障がいに関すること 「生活」子育て、ゴミ等、生活に関すること 「芸術・文化」演劇、演奏会、展覧会等 「スポーツ・健康」大会、教室等 「催し」祭、フリーマーケット等の催事 「募集」市民活動、ボランティア等の募集 「防災・防犯」防災訓練等

					「自然・環境」自然観察会、花の配布等 「会議」会議案内、傍聴募集等 「求人」職員等の求人 「その他」その他 複数選択可能	
	ic:イベント_期間					
		ic: イベント スケジュール_ 開催日			一日だけの開催の場合の開催日。列挙可。YYYY-MM-DD。	単発のイベントとして告知する場合
		ic: イベント スケジュール_ 開始日			イベントが開始する日。	単発のイベントとして告知する場合
		ic: イベント スケジュール_ 終了日			イベントが終了する日。	単発のイベントとして告知する場合
		ic: イベント スケジュール_ 開始時間			イベントが開始する時間。	単発のイベントとして告知する場合
		ic: イベント スケジュール_ 終了時間			イベントが終了する時間。	単発のイベントとして告知する場合
		ic: イベント スケジュール_ 説明			スケジュールの説明や例外などを記載。	単発のイベントとして告知する場合
		ic:定期スケジ ュール_種別			スケジュールの種別。「週間」「月間」「年間」などを指定する	定期的イベントとして告知する場合
		ic:定期スケジ ュール_開催日			このスケジュールが有効となる日。「週間」スケジュールの場合は曜日を指定し、「月間」スケジュールの場合は月の中の日を指定し、「年間」スケジュールの場合は年の中の月日を指定する	定期的イベントとして告知する場合
		ic:定期スケジ ュール_有効開 始日時			このスケジュールが有効になる日時。	定期的イベントとして告知する場合
		ic:定期スケジ			このスケジュールが無効になる日時。	定期的イベン

		ユール_有効終了日時				トとして告知する場合
		ic:定期スケジュール_開始時間			指定された曜日に場所やサービスが開始する時間。	定期的イベントとして告知する場合
		ic:定期スケジュール_終了時間			指定された曜日に場所やサービスが終了する時間。	定期的イベントとして告知する場合
		ic:定期スケジュール_説明			スケジュールの説明や例外などを記載。	定期的イベントとして告知する場合
	ic:イベント_要約				一覧などに載せる簡易な説明を 100 文字以内で記載。	
	ic:イベント_説明				イベントに説明がある場合には記載。	
	ic:イベント_キーワード				イベントにキーワードがある場合に記載。	
	出演者				イベントに出演者や講演者がある場合に記載。列挙可。	
	ic:イベント_対象者				「小学生」「高校生以上」等の条件がある場合に記載。保護者同伴等も記載	
	ic:イベント_人数				募集人数や収容人数を記載。	
	ic:イベント_料金					
		ic:価格一覧_種別			料金の種別を記載。「大人」「団体割引(大人)」「一日」等。	
		ic:価格一覧_価格			価格を円単位、半角数字で記載。	
	持ち物				必要な持ち物がある際に記載。	
	ic:イベント_地点					
		ic:地点_ID			地点にIDを記載するときには、以下にどのコード体系を使うか記載。	
			ic:ID_体系			
				ic:ID体系_名称	ID に名称がある場合に記載。	
				ic:ID体系_ID	ID に番号などが付与されているとき記載。	
				ic:ID体系_	ID を発行する組織名を記載。	

				発行者	
				ic:ID体系_発行者-ID	
				ic:ID体系_バージョン	ここで使用する ID のバージョンを記載。
				ic:ID体系_URI	ID に URI がある場合に記載。
			ic:ID_値		ID の実際の値を記載。この部分が一般には表示される。
		ic:地点_名称			地点の名称を記載する。
			ic:名称_種別		「正式名称」、「英語名称」等の種別を記載。
			ic:名称_表記		名称を記載。
			ic:名称_表記-カナ		名称のカナ名を全角で記載。
			ic:名称_表記-ローマ字		英語名もしくはローマ字名を記載。
		ic:地点_通称			地点が通称を持つ場合に記載する。
		ic:場所_地理識別肢			緯度、経度、高度または深さ、座標参照系の順に区切り文字なしに記載。スラッシュ「/」で終わる。 地点が、面や線などを表す場合には、代表地点を記載。
		ic:住所_種別			「代表地点」等、住所項目に解説が必要な時に使用する。
		ic:住所_表記			都道府県、市区町村、町名を連続して記載。その後、丁目、番地、号をハイフンで接続して半角で記載。
		ic:住所_表記(定型)			
			ic:定型住所_国		国名を記載。
			ic:定型住所_国-コード		国名コード(2文字)を記載。
			ic:定型住所_都道府県		都道府県名を記載。「東京都」「神奈川県」のように、都道府県まで記載。
			ic:定型住所_都道府県-コード		全国地方公共団体コード(左2桁)を記載。

			ic:定型住所_市区町村		市町村名、および、東京都の場合は特別区名を記載。郡は、「〇〇郡〇〇村」と記入。北海道で総合振興局の記載が必要な場合には、市町村名の前に記載。	
			ic:定型住所_市区町村-コード		全国地方公共団体コード（右4桁）を記載。	
			ic:定型住所_区		政令指定都市の場合は、区を記載。	
			ic:定型住所_町名		町名、大字等、文字での住所記載部分を記載。	
			ic:定型住所_丁目		半角数字	
			ic:定型住所_番地補足情報		丁目以降の数字の前に、「東」「北」「浜」「甲」等の文字が付く場合には記載。	
			ic:定型住所_番地		半角数字。	
			ic:定型住所_号		半角数字。町名の後ろに数字が1つしかない場合はここに記載。	
			ic:定型住所_号枝番		半角数字番地に枝番がある場合には記載。	
			ic:定型住所_ビル名		ビルに、「新館」等の日本語補足があるときには、「〇〇ビル新館」の要に記入	
			ic:定型住所_ビル番号		半角英数字	
			ic:定型住所_部屋番号		半角数字	
			ic:定型住所_方書		ビル名、ビル番号、部屋番号を連続して記載。	
			ic:定型住所_ID			
			ic:定型住所_住所コード		住所を表すために、第三者が提供する既存のコード体系を活用する場合に使用する。	
				ic:コード_体系	コードの体系を記載する。	
				ic:コード_値	ID の実際の値を記載。この部分が一般には表示される。	
		ic:住所_郵便番号			郵便番号を半角、ハイフンなし、連番で記載。	

		ic:場所_地理座標			
			ic:座標_座標参照系		座標の参照系を記述する。
			ic:座標_緯度		緯度を、-90から+90で記載。「+」「-」は必ず記載。 10進表示の場合は、小数点以下6桁まで記載。 度分秒表示の場合は、秒の小数点以下1桁まで記載。
			ic:座標_経度		経度を、-180から+180で記載。「+」「-」は必ず記載。 10進表示の場合は、小数点以下6桁まで記載。 度分秒表示の場合は、秒の小数点以下1桁まで記載。
			ic:座標_測地高度		メートル単位の整数で記載。
		ic:地点_アクセス			
			ic:アクセス_最寄地点		最寄地点 (駅、バス停、インターチェンジ等)
			ic:アクセス_最寄地点補足情報		最寄地点までの交通手段など、最寄地点の捕捉説明となる情報。鉄道の場合、「事業会社路線名」で記載。複数路線があるときには「,」区切り
			ic:アクセス_最寄地点出口情報		駅の出口名称など、最寄地点の出入口に関する補足情報
			ic:アクセス_アクセス種別		最寄地点からのアクセス手段。鉄道、バス、徒歩、など
			ic:アクセス_アクセス種別補足情報		バス系統や鉄道の特急・準急区分、徒歩の場合の進行方向など、アクセス手段の補足説明となる情報
			ic:アクセス_アクセス時間		最寄地点からのアクセス時間
			ic:アクセス_地図		地図
			ic:アクセス_備		その他の補足情報。

		考		
	ic:地点_参照			地点を説明する情報がある場合には、その参照先 url 等を記載。
	ic:地点_画像			画像がある場合には、参照先 url 等を記載。
ic:イベント_参加方法				「現地集合」「動きやすい服装で参加」等、参加条件があるときに記載。
申込方法				
	種別			一般、障害者、優先等
	期間			申込期間を記載。時間や当日消印等の詳細条件は備考に記載
		ic:期間_開始日時		
		ic:期間_終了日時		
	申込書類入手方法			窓口での配布、インターネット等の入手方法を記載。
	申込手法			電話、郵送等の申し込み方法を記載。
	申込先			申し込みの送付先、提出先を記載。
	選抜方法			抽選、先着順等を記載
	通知方法			電話、郵送、そのまま来場等の申込結果の通知方法を記載。
	申込 web サイト			申し込みの web サイトがあるときには記載。
	備考			時間や当日消印などの備考も必要
ic:イベント_託児施設				託児施設の有無や条件を記載。
	託児施設_申込方法			
	託児施設_料金			
		ic:価格一覧_種別		
		ic:価格一覧_価格		
	託児施設_締切			
ic:イベント_参照				イベントに関連した情報がある URL などを記載。

	ic:イベント_画像				イベントに関連した画像がある場合に添付。	
	ic:イベント_関連イベント					
		ic:イベント_ID				
		ic:イベント_名称				
		ic:イベント_分類				
		ic:イベント_期間				
		ic:イベント_要約				
		ic:イベント_説明				
		ic:イベント_キーワード				
		出演者				
		ic:イベント_対象者				
		ic:イベント_人数				
		ic:イベント_料金				
		持ち物				
		ic:イベント_地点				
		ic:イベント_参加方法				
		申込方法				
		ic:イベント_託児施設				
		ic:イベント_参照				
		ic:イベント_画像				

		ic:イベント_関連イベント				
		ic:イベント_関連組織				
		ic:イベント_連絡先				
ic:イベント_関連組織						イベントに関連する組織を記載。
		ic:関連組織_役割				「主催」「共催」「後援」「協力」等を記載。
		ic:関連組織_組織				組織名を正式名で記載。
ic:イベント_連絡先						イベントに関する連絡先がある場合には、その内容を記載。
		ic:連絡先_種別				コールセンター等種別を使いたい場合に記載。
		ic:連絡先_名称				観光案内電話案内等、問い合わせ先の代表名称を記載。
		ic:連絡先_組織				連絡先を運営する組織名を記載。
		ic:連絡先_担当者役職				
		ic:連絡先_担当者名				
		ic:連絡先_Eメールアドレス				
		ic:連絡先_住所				
		ic:連絡先_送付先				
		ic:連絡先_電話番号				
		ic:連絡先_内線番号				
		ic:連絡先_FAX番号				

		ic:連絡先_携 帯電話番号				
		ic:連絡先_web サイト				
		ic:連絡先_ID				
		ic:連絡先_対 応言語				
	ic:イベント_備考					

図 3 詳細データ項目

英語名は IMI の命名規則（NDR）に従い、単語の頭文字を大文字にして英単語を接続している。

また、検索エンジンでの用語の標準化している Schema.org との関係も下表に整理する。利用した Schema.org の分類は、以下の通りである。

ic:イベント	Event 英語名	Schema.org
ic:イベント_ID	Identification	
ic:イベント_名称【正式名称】	Name	Thing>name
ic:イベント_名称【通称】	AlternateName	Thing>alternateName
ic:イベント_目的	Purpose	
ic:イベント_分類	Category	
ic:イベント_期間	Duration	Thing>Event>duration
ic:イベント_期間【開始日】	StartDate	Thing>Event>startDate
ic:イベント_期間【終了日】	EndDate	Thing>Event>endDate
ic:イベント_要約	Abstract	
ic:イベント_説明	Description	Thing>description
ic:イベント_キーワード	Keyword	
出演者	Performer	Thing>Event>performer
ic:イベント_対象者	Attendee	Thing>Event>attendee Thing>Event>typicalAgeRange
ic:イベント_人数	Capacity	
ic:イベント_料金	Admission	
持ち物	Item	Thing>Place>hasMap
ic:イベント_地点【名称】	Name	Thing>name
ic:イベント_地点【住所】	Address	Thing>Place>address
ic:イベント_参加方法	Participation	
申込方法	Resistration	
ic:イベント_託児施設	NursingFacility	
ic:イベント_参照	Reference	Thing>url
ic:イベント_画像	Image	Thing>image
ic:イベント_関連イベント	ReratedEvent	Thing>Event>superEvent Thing>Event>subEvent
ic:イベント_関連組織		Thing>Event>organizer
ic:イベント_連絡先	ContactInformation	Thing>Place>contactInformation
ic:イベント_連絡先【電話】	TelephoneNumber	Thing>Place>telephone
ic:イベント_連絡先【fax】	FaxNumber	Thing>Place>faxNumber

図 4 英語対応、schema.org 対応

3. IEP 活用の流れ

3. 1 新規システム構築の場合

データ設計において、本 IEP の活用を検討する。本 IEP に対応することで、インターフェースのカスタマイズを最小限に抑えることができる。

データベース内のデータを詳細項目で記録して、入出力においては利用者に合わせた形で構築する。こうすることで、高い相互運用性と使いやすいインターフェースを両立させること。

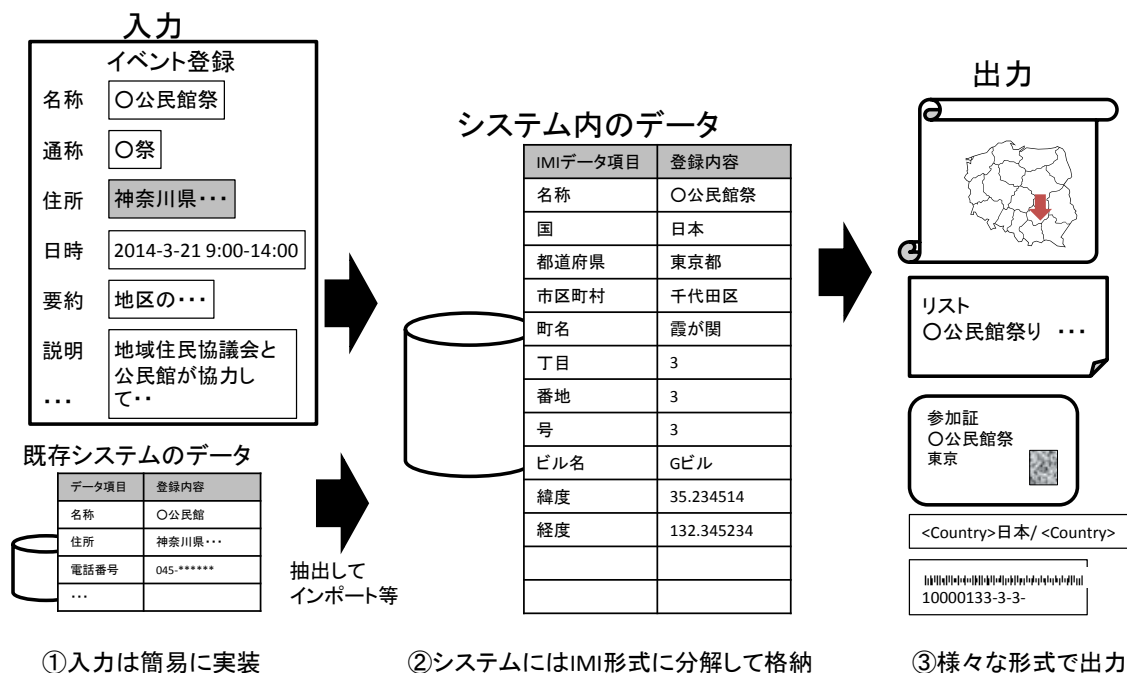


図 5 新規システムでの導入イメージ

(1) 手順 1 データ洗い出し

新システムに必要なデータ項目の洗い出しを行う。また、他システムで持っており、インポート可能なデータを洗い出す。

(2) データ確認とサブセット作成

IMI のデータ項目を見て、過不足を検討する。そして、IMI のデータのうち使用する項目のサブセットを作成する。他システムでインポート可能なデータがある場合、そのデータの対応関係を整理する。

(3) データ実装方式の検討

画面やデータベースでのデータ実装方式を検討する。郵便番号や町字コードから住所を自動入力するなどの工夫を行う。また、他システムでインポート可能なデータがある場合、そのデータの変換方法等を整理する。

3. 2 既存システムの場合

他システムとの情報交換や情報公開のためにデータのインタフェース設計（API を含む）が必要な時に、本 IEP の活用を検討する。本 IEP を活用することで、2 回目以降の変換作業の負担を大幅に減らすことができる。

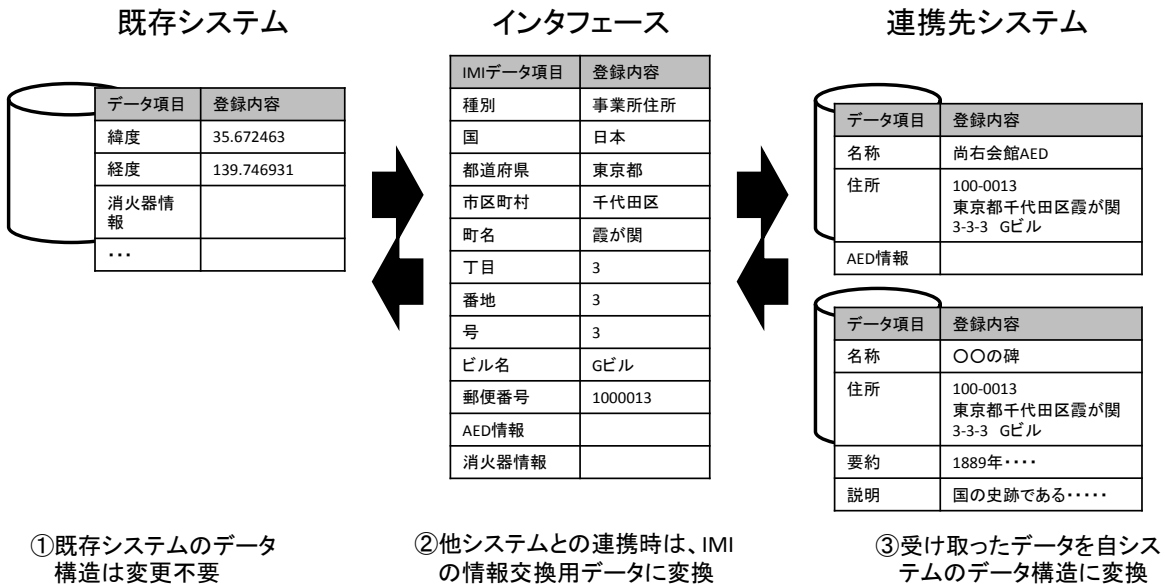


図 6 既存システムでの導入イメージ

(1) データ対応表の作成

自組織内で地点に関するデータベースを持っている時には、IMI のデータ項目に対して対応表を作成する。

(2) 情報交換用データセットに変換

自組織の情報と IMI の対応表、連携先のデータと IMI の対応表を見て、情報交換方式を検討する。双方ともに情報交換用データセットに変換して送受信を行えるように準備する。

(3) IMI 形式データの受信と自組織のデータ形式への変換

データ連携先には、IMI 形式でのデータ送信を依頼する。その上で、IMI 形式で受信したデータを、自組織のデータ形式に変換する。

4. コード等

4. 1 コード、データ

イベントに関する共通のコードはない。

4. 2 グローバル対応

海外からの訪問者や滞在者が増えていることから、多言語での対応も求められている。観光庁では「観光立国実現に向けた多言語対応の改善・強化のためのガイドライン」において、英語、中国語（簡体字）、韓国語に対応した対訳後一覧を提供している。語彙の活用において、本対訳を活用されたい。

5. サンプル

サンプル1

データ項目名	説明	サンプル
名称	イベントの正式名称を記載。	大人の社会科見学
サブタイトル	イベントのサブタイトルを記載。	アウトレットパーク横浜ベイサイドへ一緒に行きませんか。
目的	イベントの目的を記載。	参加・交流
分類	イベントの分類を記載。	催し
期間	イベントの期間を記載	2014-9-30
要約	イベントの要約を記載。	有名ブランドがそろそろ、約 70 のアウトレットショップやレストランが入ったアウトレットモールです。建物は 19 世紀のアメリカの街並みをイメージして作られており、一見の価値がありそうです。まだ、行ったことのない人も出かけてみませんか。
説明	イベントの説明を記載。	11:00 シーサイドライン鳥浜駅改札集合 11:10～12:30 アウトレットパーク横浜ベイサイド見学 12:30 現地解散
キーワード		
対象者	イベントの対象者を記載。	一般,シニア
人数	募集人数や定員を記載。	10
料金	料金を記載	0
持ち物	持ち物を記載。	なし
地点	イベントの地点を記載。	アウトレットパーク横浜ベイサイド
路線	イベントの最寄駅のある交通機関	シーサイドライン
申込の期間【開始日】	申込の開始日を記載。	2014-9-11
申込の期間【終了日】	申込の終了日を記載。	2014-9-29
申込手法	申込手法	電話 FAX 担当窓口
申込先の名称	申込先	仲尾台中学校コミュニティハウス

申込先の電話	申込先の電話	045-623-6787
申込先のfax	申込先のfax	045-623-6787
申込先の住所	申込先の住所	〒231-0839 横浜市中区仲尾台 23 仲尾台中学校内
申込の備考	申込の備考	月、火、木、土、日曜日の9時～21時 申込必要事項：申込者氏名、申込者電話番号、申込者年代 注意事項：昼食は自由です。
選抜方法	選抜方法	申込先着順
託児施設	託児施設	なし
参照	参照urlを記載	
画像	画像を記載。	
連絡先	イベントに関する連絡先がある場合には、その内容を記載する	仲尾台中学校コミュニティハウス 横浜市中区仲尾台 23 仲尾台中学校内 電話: 045-623-6787 (連絡先名称+住所+電話で合成)

図 7 サンプル 1

サンプル 2

データ項目名	説明	サンプル
名称	イベントの正式名称を記載。	第 8 回長浜ホール音楽祭
サブタイトル	イベントのサブタイトルを記載。	美しき映画音楽の世界へ...
目的	イベントの目的を記載。	見る・聴く
分類	イベントの分類を記載。	芸術・文化
期間	イベントの期間を記載	2014-10-11
要約	イベントの要約を記載。	オーボエの桃原健一さん、フルートの黒住さやかさんを招き、ピアニスト斎藤真理恵がナビゲートするトーク&ライブ
説明	イベントの説明を記載。	
キーワード		
対象者	イベントの対象者を記載。	こども・青少年 一般 シニア
人数	募集人数や定員を記載。	104
料金	料金を記載	1000

地点	イベントの地点を記載。	長浜ホール
路線	イベントの最寄駅のある交通機関	シーサイドライン 京浜急行本線 京浜急行逗子線
申込の期間【開始日】	申込の開始日を記載。	2014-9-11
申込の期間【終了日】	申込の終了日を記載。	2014-10-11
申込手法	申込手法	電話、FAX、担当窓口
申込先の名称	申込先	長浜ホール担当
申込先の電話	申込先の電話	045-782-7371
申込先のfax	申込先の fax	045-782-7389
申込先のemail		nagahama-hall@nagahama-hall.com
申込先の住所	申込先の住所	〒236-0011 横浜市金沢区長浜 114-4 長浜野口記念公園内
申込の備考	申込の備考	申込必要事項：申込者氏名、申込者電話番号、申込者年代
選抜方法	選抜方法	先着順(チケット等購入)
託児施設	託児施設	なし
参照	参照urlを記載	http://nagahama-hall.com/
画像	画像を記載。	
連絡先	イベントに関する連絡先がある場合には、その内容を記載する	長浜ホール担当 横浜市金沢区長浜 114-4 長浜野口記念公園内 電話: 045-782-7371 (連絡先名称+住所+電話で合成)
備考	備考	注意事項：※未就学児童の来場はお断りします。 ※客席へは13:30よりチケット番号順(ご予約およびご購入先着順)の入場とさせていただきます。

図 8 サンプル 2

サンプル 3

データ項目名	説明	サンプル
名称	イベントの正式名称を記載。	ヨガ教室
目的	イベントの目的を記載。	学ぶ

分類	イベントの分類を記載。	スポーツ・健康
定期スケジュール_種別		週間
定期スケジュール_開催日		2014-9-19
定期スケジュール_有効開始日時		2014-9-19
定期スケジュール_有効終了日時		2014-12-12
定期スケジュール_開始時間		9:20
定期スケジュール_終了時間		10:20
定期スケジュール_説明		
定期スケジュール_種別		週間
定期スケジュール_開催日		2014-9-19
定期スケジュール_有効開始日時		2014-9-19
定期スケジュール_有効終了日時		2014-12-12
定期スケジュール_開始時間		10:40
定期スケジュール_終了時間		11:40
定期スケジュール_説明		
要約	イベントの要約を記載。	ヨガを通じて自分の身体を知り、元気に健康に暮らす。

説明	イベントの説明を記載。	
人数	募集人数や定員を記載。	120
料金	料金を記載	全 12 回 5000 円
地点	イベントの地点を記載。	能見台地区センター (体育室)
路線	イベントの最寄駅のある交通機関	京浜急行本線 京浜急行逗子線
申込の期間【開始日】	申込の開始日を記載。	2014-7-25
申込の期間【終了日】	申込の終了日を記載。	2014-8-28
申込手法	申込手法	往復はがき
申込先の名称	申込先	能見台地区センター
申込先の電話	申込先の電話	045-787-0080
申込先の fax	申込先の fax	045-787-0090
申込先の email		nagahama-hall@nagahama-hall.com
申込先の住所	申込先の住所	〒236-0058 金沢区能見台東 2-1
申込の備考	申込の備考	申込み備考：返信はがきを添えて受付に 申込必要事項：申込者氏名 申込者〒・住所 申込者電話番号 講座名、時間帯(1)または(2)
選抜方法	選抜方法	抽選(必着)
通知方法		返信はがき
託児施設	託児施設	なし
参照	参照urlを記載	http://nagahama-hall.com/
画像	画像を記載。	
主催		能見台地区センター
共催		ヘルシーヨガ
連絡先	イベントに関する連絡先がある場合には、その内容を記載する	能見台地区センター 金沢区能見台東 2-1 電話: 045-782-7371 (連絡先名称+住所+電話で合成)
備考	備考	① 9:20-10:20 ② 10:40-11:40 の 2 コース

図 9 サンプル 3

サンプル4

データ項目名	説明	サンプル
名称	イベントの正式名称を記載。	肺がん検診
目的	イベントの目的を記載。	サービス利用
分類	イベントの分類を記載。	医療・衛生
対象者	イベントの対象者を記載。	40歳以上の人
人数	募集人数や定員を記載。	50
料金	料金を記載	X線のみ 680円 X線+喀痰 1350円
地点	イベントの地点を記載。	金沢区役所 (4階12番 健康相談室)
申込の期間【開始日】	申込の開始日を記載。	2014-8-19
申込手法	申込手法	往復はがき
申込先の名称	申込先	健康づくり係 (3階3番)
申込先の電話	申込先の電話	045-788-7840
申込の備考	申込の備考	申込み備考：返信はがきを添えて受付に 申込必要事項：申込者氏名 申込者〒・住所 申込者電話番号 講座名、時間帯(1)または(2)
選抜方法	選抜方法	先着
備考	備考	無料でがん検診が受けられる人 70歳以上の人など (保険証などの提示) 世帯全員が「市県民税非課税」や「均等割のみ課税」の人など (事前に健康づくり係で手続きが必要です。)

図 10 サンプル4